

- ・松下幸之助さんの直ぐに行動に移すことは、見習いたいと思った。
- ・困っている人を見た場合、誰にでも・彼にでも、何かをしてやると言うことは、考え物です。1回は良いかも知れませんが、どんな事情で困っているかを、聞き出す必要があるのではないか。困っている『理由』が何かを知り、その理由が納得のいくものであれば、手助けしても良いのではないかと考える。
- ・助けてあげたいとまず思う。何か差し上げなかったら、罪悪感になるような気がする。立場に関係なく直ぐに出来ることは素晴らしい。(素直な心になっている)
- ・60年前の話です。大雨の中バスを待っていると、高校生が走ってきたが、水が膝上まで来ており、助けたいと思い彼女に近づき「おぶって渡らせようと」彼女の前にかがんだが、彼女は逃げて行ってしまいました。(私は恥ずかしかった)
- ・相手の迷惑を考えずに、私が良いと持ったことをやったに過ぎない。判断基準を持つことの大切さが分かった。現在は孫との対応になっている。
- ・誰でも助けることにいわく感をもっている。
- ・その場面・場面で、心の持ちようにより気持ちが異なる。心に余裕があるか無いかにより、その対応がことなる。
- ・心の余裕が必要(授業員との問題)
- ・相手の将来を考えて、どう手助けするかまで考える。

●問1：あなたは、困っている人を見かけたらどうされますか。

- ・今まで大きいことはなかったが、小さいことでは、買い物の荷物を持ってやったり、車に乗るのを手伝ったりは、普段行なっています。
- ・自分の出来るところまではやっている。職場で助けたいと思っても、職場でのルールがあり、手助け出来ないことにジレンマを感じている。
- ・1日車を運転するときは、相手のことを気にしながら運転している。
- ・知り合いの子どもが罰金代を支払いたいのので、お金を貸して欲しいと言ってきたが、貸さなかった。理由は、その子どもの態度が不真面目で働いてもいなかったから。
- ・年金受給者に借金があり、家を競買にかけないといけなくなった。本人は家を買戻したいと思っていたので、お金を貸してあげた。その結果買戻すことができた。
- ・この人は伸びると思う人を助けたいと思っている。ジャカルタの子どもに本を贈ってやった。日本語を話すのに役だったようです。
- ・お金を貸すことが多いが、100%返ってくることはない。

●問2：自分が困った時に、助けられた経験はありますか。

- ・7~8年前電車の乗って立っているときに、気分が悪くなり意識がなくなり、しばらくして意識が戻ったときには、座席に座らせていただいたおり乗換駅にきたの、周りの人たちに「ありがとうございました」とお礼を言って降りました。しばらくホームのフェンスに寄りかかっていると、駅員さんが車椅子を持ってきて「大丈夫ですか。救急車を呼びますか。駅で休んで行かれますか。」と言って、車椅子に乗せて救護室に連れて行っ

てくれました。しばらくベットに横になっていました。1時間位すると落ち着いてきたので、駅員さんに「ありがとうございます」とお礼を言って目的地に向かうことができました。多くの人に助けられ、今の自分があることに感謝しています。

- ・今自分があるのは、皆に助けられているからだと思っている。
- ・学生時代に話です。友達のお姉さんに会った。「どうしたの」と聞かれ、「本を買いたかったがお金が足りなくて本が買えなかった」するとお姉さんが「1ドル」くれた。本を買わず「焼きそば」を食べて帰ってきた。今、その姉さんを探している。お礼をしたいと思っている。
- ・高校を卒業し本島に出てきたときに、バスの運転手さんが「試験頑張れよ」と言ってくれた。また、「バス代1,000円のところを500円」にしてくれた。
- ・バスの運転手が知り合いだったので、ただで乗せてもらった家まで帰ることができた。
- ・ピザの関係で助けられることが多かった。
- ・バスの乗り方分からない。小銭がなかった。時などインド系の人に助けられた。
- ・助けられたことは一杯あった。チケットや財布・鞆などの紛失に関して、全て戻ってきたことには驚きを感じている、
- ・職場では助けられたことや助けたことがいくつもあった。
- ・足場の工事見積の内容チェックを頼まれたが、人間関係によって助けられた。技術も大切であるが、沖縄の先祖からの引き継ぎが大きいのではないかな。